

HTML/CSS実習

03. ページのリンク

株式会社ジードライブ

今回学ぶこと

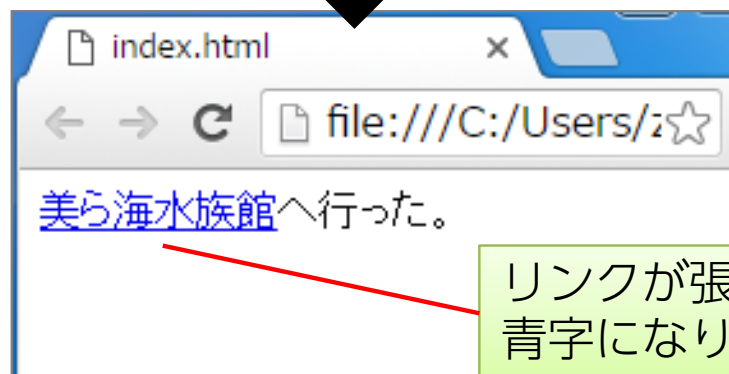
- リンクの構文
- 絶対パスと相対パス
- ページ内リンク

リンクのタグ a

- リンク先に移動するためのクリック範囲を示す
 - <a>は **Anchor**(いかり) に由来
 - リンク先は**href属性**で指定する



```
<p>  
  <a href="http://oki-churaumi.jp/">美ら海水族館</a>へ行った。  
</p>
```



リンクが張られたテキストは
青字になり、下線が引かれる

aタグの記述位置

①見出し・段落・リストなどの中に記述する

```
<h1><a href="index.html">大久保ステーショナリー株式会社</a></h1>
<p>質問・ご要望は<a href="contact.html">お問い合わせ</a>からご連絡ください</p>
<ul>
  <li><a href="shop.html">会社概要</a></li>
  <li><a href="items.html">商品一覧</a></li>
</ul>
```

②見出しや段落などを内包することもできる

```
<h2>プレスリリース</h2>
<a href="press180305.html">
  <h3>「M-405」春モデル発売決定</h3>
  <p>人気万年筆「M-405」シリーズの
    新モデルを発売します。</p>
</a>
```

<a>で囲まれた全体がリンクの領域となる
⇒ 文字の部分だけではない

プレスリリース

「M-405」春モデル発売決定

人気万年筆「M-405」シリーズの新モデルを発売します。

href属性とtarget属性

href属性

- 値としてリンク先のパス(URLやファイル)を指定する
- Hypertext **R**eferenceの略 画像、PDF、zipなど

```
<ul>
  <li><a href="index.html">ホーム</a></li>
  <li><a href="shop.html">店舗情報</a></li>
  <li><a href="items.html">商品一覧</a></li>
</ul>
```

target属性

- リンク先をどのように開くかを指定する
- 値として **_blank** を指定すると、リンク先を別タブで開く

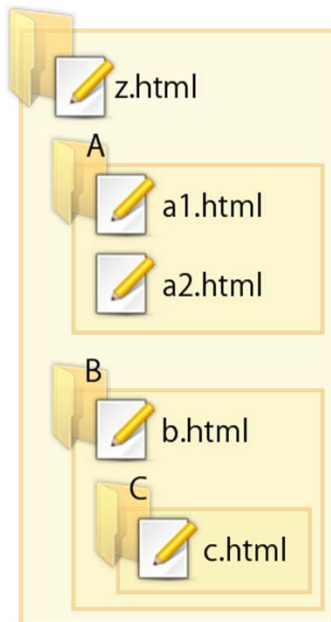
```
<a href="http://oki-churaumi.jp/" target="_blank">美ら海水族館</a>
```

相対パスと絶対パス

- パスの指定方法は 2 種類ある
 - ① **相対パス**による指定
 - リンク元を基準にした相対的なパス
 - ② **絶対パス**による指定
 - リンク元ファイルの位置に関係なく指定できる形式で、フルパスとルートパスの2種類が存在する
 - フルパスは外部サイトへのリンクに使用される
 - ルートパスはサイト内のページへのリンクに使用される

相対パス

- 同一サイト内でのリンクを指定する場合に利用
- リンク元を基準として、場所を特定させる形式
 - 同じ階層(同一フォルダ内)のファイルへのリンクは、**href="ファイル名"** で表す
⇒ 同じ階層であることを明示する場合は、**href="./ファイル名"** と記す
 - 異なる階層(別フォルダ)のファイルへのリンクは、**href="フォルダ/ファイル名"** で表す。また、1 階層上のフォルダは **../** で表すことができる



リンク元 ファイル	リンク先 ファイル	相対パス
a1.html	a2.html	～
b.html	c.html	～
z.html	c.html	～
a1.html	z.html	～
c.html	a1.html	～

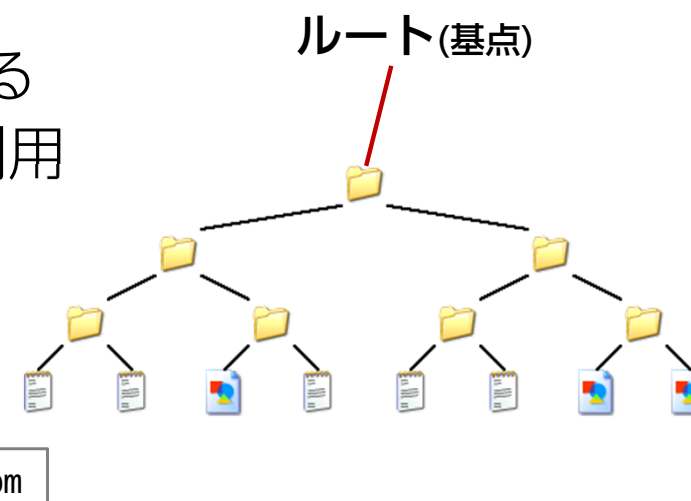
絶対パス

フルパス (`http://www.example.com/items/xxx.html`のような形式)

- `http://〇〇〇.com/` のように、`http://`または`https://`で始まる形式で記述する
- おもに**外部サイトへのリンク**を指定する場合に利用

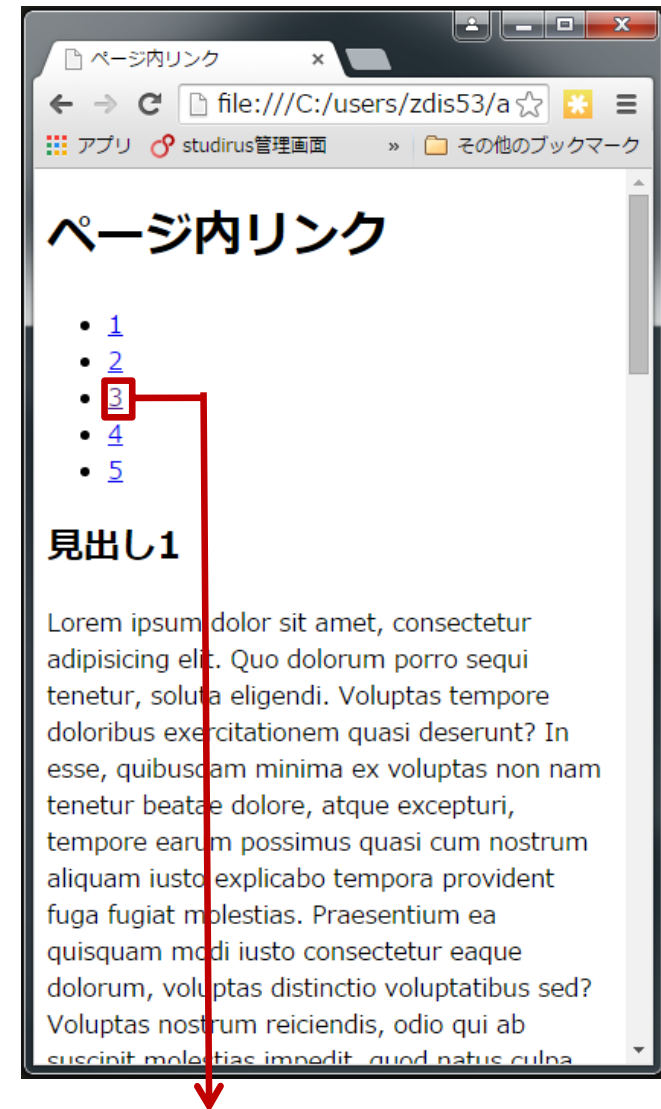
ルートパス (`/items/xxx.html`のような形式)

- `/` (スラッシュ) から始まる形式で記述する
- 大規模サイトでファイル数が多い場合に利用
- そのプロジェクトの最上位を基点として、ファイルの場所を指定する
- 上記のフルパスのドメイン部分までを除去したものと考えてよい



ページ内リンクとは

- ページ内の特定の箇所へのリンク
- 1 ページに多くのコンテンツがある場合、ページ内リンクを設置することで、目的の項目を探しやすくなる。
- アンカーリンクともいう



ページ内リンクの作成

① リンク先(目的地)へアンカーを設置する

```
<h2 id="tokyo">東京の天気</h2>
```

id属性:

同じ要素が並ぶ場合、他と識別するための名札の役割をする

※同一ページ内で、重複するidを設定することはできない

② リンク元の値に#アンカー名をつける

```
<a href="#tokyo">東京</a>
```

※別ページのアンカーに対してリンクを設置することも可能

```
<a href="about.html#tokyo">東京</a>
```

```
<a href="#tokyo">  
東京</a>
```

2

```
<h2 id="tokyo">  
東京の天気</h2>
```

1

スムーズスクロール

- ページ内リンクに対して、スクロール移動をさせるには、CSSやJavaScriptによる制御が必要になる

CSSによる制御の記述例

```
<style>
html {
    scroll-behavior: smooth;
}

h2 {
    scroll-margin-top: 20px;
}
</style>
```

スクロール移動への対応

スクロール地点の余白設定

※style要素はhead内に配置することができる

練習

- 練習03-1
- 練習03-2